

江湖新聞

第十三號

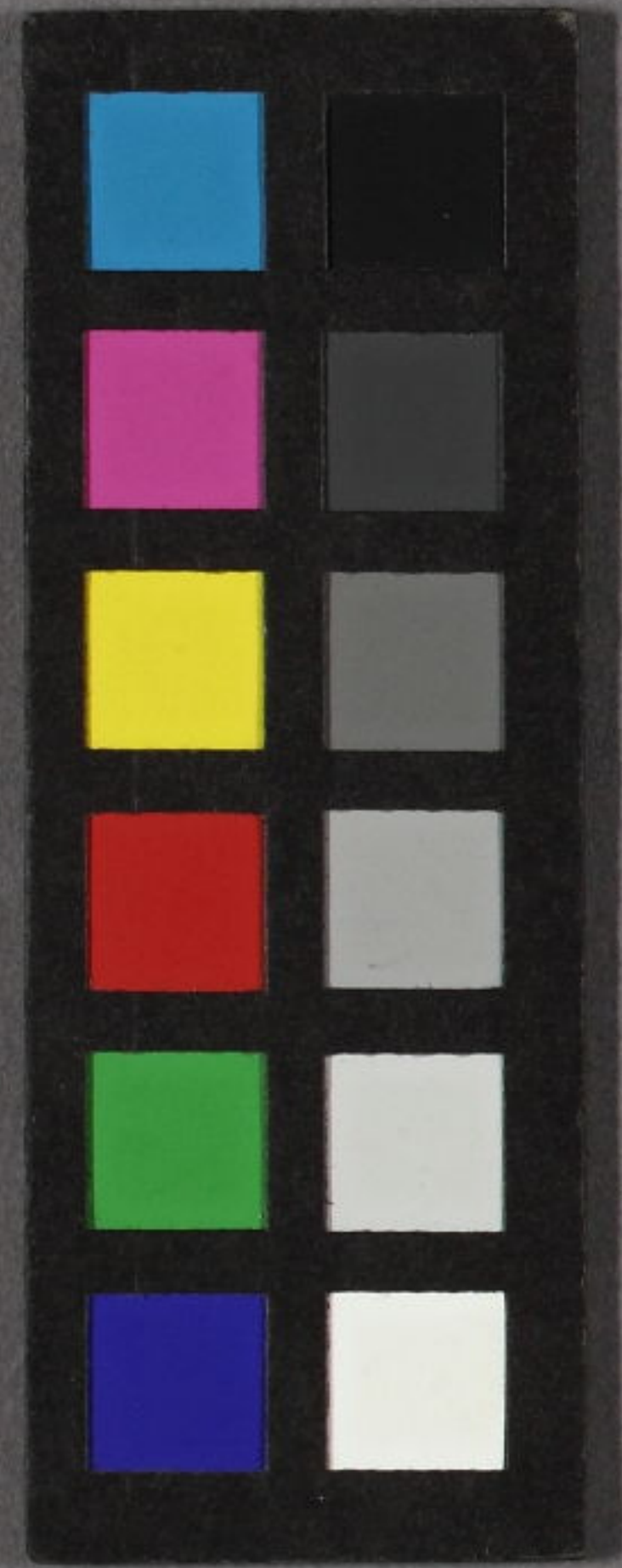
定價八分

西垣文庫

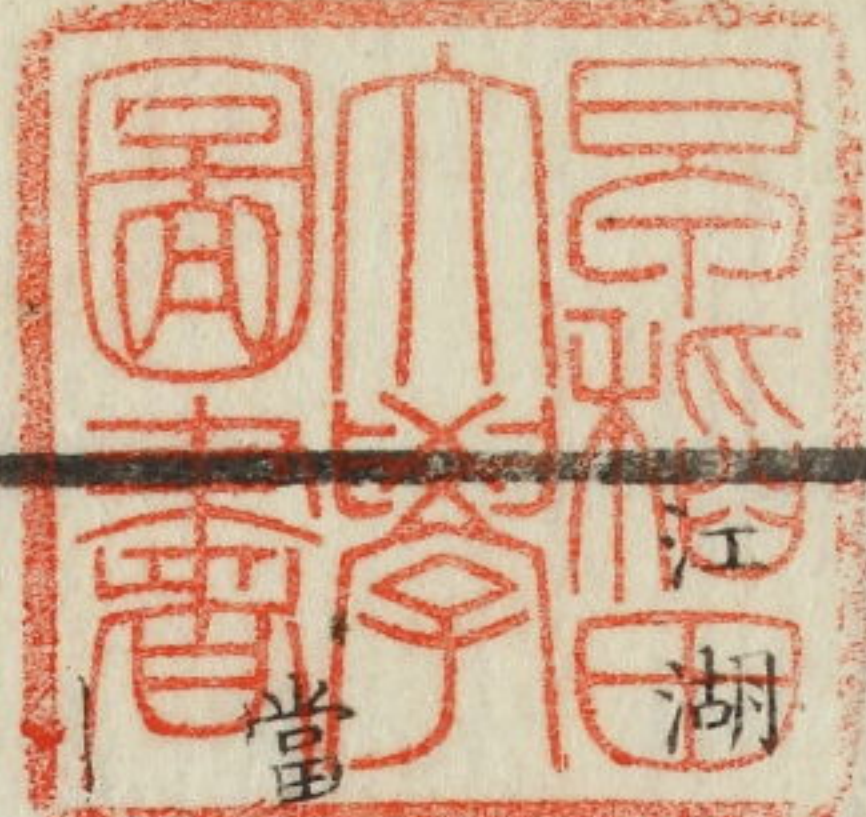
文庫 10

7287

13



特 文庫10
7287
13



新聞第十三号

慶應四戊辰年閏四月廿七日

西田文庫

當月十九日大島圭介會津の將山川大内藤會津の兵を引率
大軍一々日光小出張一々大谷川を隔る陣營を張る
官軍ハ土州夷根の兩藩をり友原といふ所まで戦ひ大兵
利を得たりと云或ハ曰く二十二日大谷川を渡り今市に到り
夷根の兵隊中ニ混入一接戦せりと其顛末の確報を
得ハ次第ニ出さる

○福清より来る一人の信

中河津裏所 同形
 古河城下 同形
 荳宮跡 岡州人数
 宇津宮跡下 戸田山城守人数
 大田系城下 大田系城守人数
 白河城下 二本松人数 但し城下
仙臺家馬頭
二本松家
 柳倉城下 仙臺人数
 須加川跡 阿部豊後守人数
 笹川跡 二本松人数
 郡山跡 同形

本宮跡 同形
 二本松城下 同形
 八丁目跡 同形
 福清城下 仙臺人数
 柳所 板倉内膳正人数
 右へ通往末殿堂改め通達容易きより
 糸條の奥妙付種より来り一人の活より復回會征の
 人数をくよりより合渡西々於丹提系平一衆要人
 の二士より仙臺末海の末渡の歎歎えが出せし付
 此支度及び出張の各くより 結核供一達云お願

依^よる解^{とく}兵^{へい}と来^きり其^{その}達^{たつ}をの書^か面^{めん}八^{はち}日^{にち}新^{あらた}同^{どう}四^し号^{ごう}
出^でる事^{こと}は多^{おほ}く省^{しやう}く枕^{まくら}の紙^{かみ}十二^{じふに}号^{ごう}出^でせし銀^{ぎん}拵^{じゆ}仕^しより
會^あ時^{とき}の達^{たつ}一^{いつ}會^あ時^{とき}よりハ涉^{せつ}傳^{でん}書^{しよ}ハそ承^{うけ}めりしと是^{こゝ}也^{なり}

○
正^{ただ}親^{ちか}所^{ところ}前^{まへ}中^{ちゆう}納^{なつ}云^い萬^{まん}里^り小^{せう}路^ろ弁^{べん}由^ゆ卿^{けい}あまひ参^{まゐ}謀^{まう}三人^{さんにん}當^{あた}月^{げつ}十二^{じふに}日^{にち}
京^{きやう}都^とも圓^{えん}東^{とう}くハ交^{かう}交^{かう}並^{へい}川^{がは}東^{とう}江^{かう}江^{かう}付^つ松^{しょう}踏^{たふ}らふ十八^{じふはち}日^{にち}横^{よこ}濱^{はま}兵^{へい}
廿^{にじふ}日^{にち}江^{かう}戸^こ兵^{へい}兵^{へい}謀^{まう}江^{かう}入^いお成^{なり}

十二^{じふに}号^{ごう}中^{ちゆう}山^{さん}前^{まへ}大^{だい}納^{なつ}云^いの以^いの以^いの傳^{でん}写^{しや}の儀^ぎあり

會^あ時^{とき}の藩^{はん}士^し大^{だい}清^{せい}壯^{さう}分^{ぶん}當^{あた}月^{げつ}上^{じやう}旬^{じゆん}探^{たん}索^{さく}事^{こと}ありて甲^{かう}州^{しゆう}赴^{しゆ}り

本^{ほん}官^{くわん}跡^{せき} 同^{どう}跡^{せき}

二^に本^{ほん}松^{しょう}株^か下^か 同^{どう}跡^{せき}

八^{はち}丁^{てい}目^め跡^{せき} 同^{どう}跡^{せき}

福^{ふく}崎^{さき}株^か下^か 心^{こゝろ}彦^{ひこ}人^{にん}敷^{しき}

柳^{やなぎ}町^{ちやう} 板^{いた}倉^{くら}内^{うち}膳^{ぜん}正^{ただ}人^{にん}敷^{しき}

右^{みぎ}へ通^{とほ}往^{むかひ}来^き殿^{どの}室^{むろ}改^{かへ}め通^{とほ}路^ろ客^{きやく}易^いありさる

茶^{ちや}條^{じょう}の奥^{おく}物^{もの}付^つ控^{かへ}りあり一人^{ひとり}の儀^ぎあり復^{また}日^{にち}會^あ征^{せい}の

人^{にん}敷^{しき}をくきりて今^{いま}藩^{はん}西^{せい}江^{かう}於^お於^お田^{でん}提^{だい}系^{けい}平^{へい}第一^{だいいち}要^{えい}人^{にん}

の二^{ふた}士^しより仙^{せん}臺^{たい}米^{まい}海^{かい}の由^ゆ儀^ぎに款^{くわん}款^{くわん}出^で見^み出^でせし一^{いつ}付^つ

此^{こゝ}支^し儀^ぎ乃^{すなは}び出^で張^{ちやう}の各^{おの}藩^{はん}より 銀^{ぎん}拵^{じゆ}仕^し一^{いつ}達^{たつ}云^いお成^{なり}

依^よ解^と兵^{へい}と案^{あん}つり其^{その}建^{けん}立^{りつ}立^たの書^{しよ}面^{めん}ハ日^ひ々^々新^{しん}同^{どう}也^{なり}号^{ごう}
出^い之^し也^{なり}省^{しやう}く^く就^す九^く小^{せう}我^が十二^{じふに}号^{ごう}出^いせし^し松^{しょう}板^{ばん}使^しより
舍^{しゃ}侍^じハの達^{たつ}一^{いつ}舍^{しゃ}侍^じよりハ涉^{せつ}信^{しん}書^{しよ}ハ其^{その}存^{ぞん}の事^{こと}と是^{こゝ}也^{なり}

○
正^{あき}親^{きん}所^{しよ}前^{ぜん}中^{ちゆう}納^{なつ}云^{いひ}萬^{まん}里^り小^{せう}路^ろ并^{へい}由^{ゆう}卿^{けい}および参^{さん}謀^{ぼう}三人^{さん}當^{たう}月^{げつ}十二^{じふに}日^{にち}
京^{きやう}都^とも圓^{えん}東^{とう}ハ江^{かう}安^{あん}並^{へい}川^{せん}東^{とう}江^{かう}付^つ松^{しょう}路^ろハ十八^{じふはち}日^{にち}横^{やう}濱^{べん}忌^ぎ
廿^{にじふ}日^{にち}江^{かう}戸^こ总^{そう}兵^{へい}隊^{たい}ハ入^い江^{かう}入^い江^{かう}成^{せい}

十二^{じふに}号^{ごう}中^{ちゆう}山^{せん}前^{ぜん}大^{たい}納^{なつ}云^{いひ}ハハ侍^じ所^{しよ}の撰^{せん}りあり

○
舍^{しゃ}侍^じの藩^{はん}士^し大^{たい}清^{せい}壮^{じゆう}ハ尚^{しやう}月^{げつ}上^{じやう}旬^{じゆん}探^{たん}察^{さつ}ハ事^{こと}ありて甲^{かう}州^{しゆう}ハ赴^{しゆ}り

石^{いし}和^わ宿^{しゆく}馬^ま友^{ゆう}軍^{ぐん}の為^{ため}ハ見^みる^{こと}ハ是^{こゝ}を免^{めん}也^{なり}とあり自^{みづか}ら
辨^わハつ^{こと}ハ津^つ代^{だい}左^さ邊^{へん}ハ以^{もつ}て是^{こゝ}を鞠^{きう}問^{もん}あり仕^し合^あ日^{にち}ハ我^がハ舍^{しゃ}侍^じの藩^{はん}あり
政^{せい}多^たク^{こと}ハ此^{こゝ}地^ちハ事^{こと}あり小^{せう}幸^{きやう}ありて縹^{へん}緋^ひハ統^{とう}く^{こと}ハ是^{こゝ}ハ天^{てん}命^{めい}多^たク^{こと}ハ梅^{うめ}江^{かう}
言^いハ中^{ちゆう}ハ也^{なり}惟^{ただ}我^が眼^{がん}の爲^{ため}ハ内^{うち}ハ友^{ゆう}軍^{ぐん}を怨^{うら}む^{こと}ハ仇^{あひ}と云^いハ^{こと}ハ是^{こゝ}ハ連^{れん}江^{かう}を
別^{わか}れ^{こと}ハれ^{こと}ハと自^{みづか}らと^{こと}ハ死^しハ統^{とう}友^{ゆう}軍^{ぐん}の士^し若^わ乎^かと^{こと}ハせ^{こと}ハ大^{たい}勇^{ゆう}多^たク^{こと}
感^{かん}ト^{こと}若^わク^{こと}ハ死^しを^{こと}ハ謝^{しゃ}ス^{こと}ハ死^しを^{こと}ハ省^{しやう}ス^{こと}ハと説^{せつ}得^{とく}ハ^{こと}ハこれ^{こゝ}ハ兼^{けん}板^{ばん}也^{なり}
遂^{すい}ハ斬^{ざん}首^{しゆ}ハ^{こと}ハこれ^{こゝ}を^{こと}ハ津^つ代^{だい}左^さ邊^{へん}ハ事^{こと}ハ仕^し合^あ生^{せい}年^{ねん}二十^{にじふ}才^{さい}ありと^{こと}ハ
以^{もつ}甲^{かう}州^{しゆう}より事^{こと}あり^{こと}ハ人^{ひと}の事^{こと}あり^{こと}ハあり

○^{こと}ハ閏^{にじふに}月^{げつ}廿^{にじふに}日^{にち}旨^{しめ}出^い板^{ばん}横^{やう}濱^{べん}ハラト新^{しん}同^{どう}の符^ふ
カノ力^{ちから}ミ^{こと}ハと^{こと}ハ江^{かう}東^{とう}利^り加^か船^{せん}吹^ふせ^{こと}ハ日^{にち}江^{かう}戸^こハ到^{たう}忍^{にん}ハ船^{せん}中^{ちゆう}ハ救^{きう}多^たク^{こと}ハ友^{ゆう}

軍を載せ番港へ投锚せり又去士兵糧を積入也上方一運
送志なきよりお守の豆國役人其國の軍艦イロウ船大船お
中通し中島を法つりしそ出帆を先取めり是れ日本内丸
の間外國より中島の法を奪ふべき報を背びがなり

○

横濱の足種 中島 武百人餘各各器をたぐふ数日お
横濱近村を田村一屯集し之れ首級を取之を去産し
今津一寺と發云す嗣後某鏡得小向ひし家即ち恥辱
を受と多くの体と遊揚ししは後首を初静なりとわんえ
下置成し珍料を後さるる死ししといふ

○ 諭言一則

近來を折学大に開け獲ぬ日と逐て盛る中にも一夫奇といふ
旨の五升草を製しを白う焼 陶器小茶を となる事之を法三十六時
の間五升草をお中お浸し硫酸八分を加再び水を注し絹の篩
掛け敷目の間乾砂の内へ置き凝結せる以之を器にお製されし
用おる其の味は焼小異なりを想火の急むべし扱ふの白う焼小毒達
十九分を投下之を煎る時の象牙と薬を種々の細工の用おる
その他半分を晒しし麻角とあり胡葡萄を煮て珊瑚とあり
流行の品を偽造し其利益莫大あり但し其の法は決しし
農氏へ傳ふるは前裁物を依りて其の法を細耕せん

にあらぬありき^あ呼吸^あ世間^あよりわが系^{まが}條^ぢ程^ぢの中^ち合^あつた利^り歎^たの迷^まひ
已^お一人^{ひと}より大^お利^りを占^しんと侍^しう遂^すに身^みを亡^なし家^いを失^しふの事^{こと}
のあまらざるは^あ悔^くむべき事^{こと}なり

此ハ米利堅新國政ニ出づ

○追加

十二号中尾州名古塚天守焼失云々件ハ所写の供あり同城下をへ
兵^{へい}丸^{まる}より^よは^は唯^{ただ}行^い樓^{ろう}のま^まの^の頭^{かぶ}り人^{ひと}も^もと^と煽^{せん}動^{どう}せ^せ由^{よし}尾^お州^{しゅう}を^をま^まね^ねる^る人^{ひと}の^の供^くへ
全^{ぜん}号^{ごう}中^{ちゆう}小^{せう}栗^り上^{じやう}妙^{めう}ハ新^{しん}田^{でん}の^のま^まに^に死^しせりとの^の言^{こと}あ^あら^らう^うそ^その^の世^よより^{より}これ^{これ}は
浮^う鏡^{きやう}あり既^{すで}に^に松^{しょう}原^{げん}右^{みぎ}京^{きやう}亮^{りやう}より^{より}の^の届^{とど}き^きを^を一^{ひと}足^{あし}せ^せり大^{だい}抵^{てい}十^{じゅう}号^{ごう}出^い
昔^{むかし}小^{せう}栗^り仁^に右^{みぎ}馬^まの^のよ^よりの^の届^{とど}き^きに^に符^ふ合^あせり

